

## 第一・第二段階査読のシングルブラインド制への移行について（予告）

日本産業技術教育学会常任編集委員会

会員の皆様には、日頃から日本産業技術教育学会常任編集委員会、編集事務局へのご理解・ご協力を頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、昨年7月に、学会会員メーリングリストにより本学会誌投稿論文の「第一・第二段階査読のシングルブラインド制（著者の名前等を査読者に伏せない／査読者の名前等は著者に伏せる）」移行についてご意見をお聞かせ頂きました。

その結果、頂いたご意見は何れもシングルブラインド制にご賛同頂くものでした。

これをふまえ、平成26年11月15日開催の常任編集委員会でシングルブラインド制移行について審議を行い、「平成27年4月1日」より、第一・第二段階査読をシングルブラインド制に移行することに致しました。

メーリングリストでの意見聴取の際にもご説明致しましたが、シングルブラインド制へに移行するのは、次のような理由からです。

- ・ 現在、本学会が採用しているダブルブラインド制（著者・査読者の名前等を相互に伏せる）では、投稿時、著者に氏名・所属等を記入した原稿を送って頂いているが、編集部ではこれらを確認後に消して査読者に送っている。なお、謝辞や科研の名称・課題番号が書かれている場合は著者に消去（採択決定時に記載）をお願いしており、原稿（pdf）のプロパティの個人情報が残っていないこと等の確認もお願いしている。これらは著者にとっては面倒で、編集事務局にとっても消去・確認作業に慎重さが求められる。これらを簡素化するため、シングルブラインド制へ移行する。（同様の理由から、近年シングルブラインド制に移行する学会が増えている現状もある。）
- ・ 本学会誌では、会員が全国大会、支部大会、分科会研究会等で発表した内容を投稿して頂いているが、これらの発表内容（題目・著者・概要）は比較的容易に検索することが可能である。すなわち、著者名が伏せられていても査読者は著者を推察できる場合が多いと思われ、著者の名前等を伏せる意義（意味）は大きくないと考えられる。

なお、移行日（平成27年4月1日）以降、新規に投稿された論文、査読過程にある論文は次のように取り扱います。

- ・ 移行日以降に新規投稿された論文は、すべてシングルブラインド制で査読を行う。
- ・ 移行日前に投稿され、既に査読過程にある論文も、移行日以降はシングルブラインド制に移行する。

なお、著者から移行日前日までに特に申し出があった場合は、ダブルブラインド制での査読を継続する。

※ 平成27年3月31日までに投稿（再投稿）頂く論文は、現行の「投稿論文チェック表」のに従ってご投稿下さい。

※ 平成27年4月1日以降に投稿頂く論文・回答書は、著者に関する個人情報（謝辞・科研の名称等、pdfファイル・プロパティ内の個人情報）は消さずにご投稿下さい。